

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点		
1	1	身体やバットの操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻守を規則的に交代し，一定の回数内で相手チームより多くの得点を競い合うこと。	内容を正しくとらえていれば，表現は異なってもよい。	5	
	2	7回終了時，同点の場合，8回の表から無死・走者二塁を設定して攻撃を継続する。二塁走者は前の回の最後に打撃を完了した者とし，打者は前回から引き続き正位打者とする。	内容を正しくとらえていれば，表現は異なってもよい。	4	
	3	( a )	軸	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば，表現は異なってもよい。	各2×6
		( b )	コース		
		( c )	最短距離		
		( d )	一連		
		( e )	ベースカバー		
		( f )	ダブルプレイ		
	4	左右前後どこでも動きやすいように構える。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば，表現は異なってもよい。	各3×3	
		すばやくボールの落下点に入る。			
肘を軽く曲げ，グラブを引くようにして顔の前で捕球する。					
2	1	a	イ	各2×6	
		b	オ		
		c	ア		
		d	キ		
		e	カ		
		f	ウ		
	2	a	エ	各2×4	
		b	イ		
		c	ウ		
		d	ア		
	3	腰を入れ背筋を真っ直ぐ伸ばして打突させる。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば，表現は異なってもよい。	各3×2	
		胸を打つときに左拳が右拳より上にならないようにさせる。			
	4	竹刀の打突方向と刃部の向きが同一方向にある状態。	内容を正しくとらえていれば，表現は異なってもよい。	4	

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
3	1 ロックの弾みやヒップホップの縦のりの動きの特徴をとらえ、体の各部位でリズムをとったり、体幹部を中心にリズムに乗ったりして全身で自由に弾みながら踊ること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 多くの領域の学習を十分させた上で、その学習体験をもとに自ら探求したい運動を選択できるようにするため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
	3 地域の特徴、学校の立地条件や気候条件、地域や学校の体育施設や用具等の実態のこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
4	( 1 ) 頭はね跳び		5
	( 2 ) ア		4
	( 3 ) 2人の補助者が、手を離さないように、呼吸を合わせて引き上げ、技を行う者が回転しすぎないように注意する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	2 踏み切りから着手まで ・両足で踏み切る。 ・腰を引き上げる。 ・転がるスペースが確保できるよう、着手する位置を調節する。 ・跳び箱の手前に、両手を肩幅に平行にまっすぐ着く。 ・視線を跳び箱から離さない。	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
	2 着手後から着地まで ・体をしっかり手で支える。 ・後頭部を着く。 ・背中を丸くして滑らかに台上を転がる。 ・回転の際、ゆっくり回る。 ・回転の際、目を開けて膝を見る。 ・着地の際、前を見る。 ・ふわっと着地する。	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	( a )	リズム		各 3 × 5	
	( b )	主菜			
	( c )	脂肪			
	( d )	適正			
	( e )	地域			
5	学習活動		問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	35	50
	指導上の留意事項				
	1 本時のめあてを確認する。	・生徒がめあてを理解しているか確認する。			
	2 運動をしなくなったときの影響について考えることで、適切な運動の必要性について理解する。	・適度な運動は、肥満や生活習慣病の予防に役立つことを理解させる。 ・適度な運動は、心臓や肺などの器官や、骨や筋肉などの発育・発達を促進させることについて補足説明をする。			
	3 これからの生活の中で運動をどのように取り入れることができるか、各自で考える。	・前時に学んだ内容や本時の資料から学んだ内容をもとに自分の考えをワークシートにまとめさせる。			
	4 各自の考えをグループで発表し、交流する。	・全員に発言をさせる。 ・話合いが円滑に進むよう各グループに合った助言をする。			
5 これからの生活の中で運動をどのように取り入れることができるか、再度、自分で考え、ワークシートにまとめる。	・グループでの交流から得た意見を参考にさせ、ワークシートにまとめさせる。				
6 本時の振り返りをする。	・健康の促進や疾病予防のためには、適切な運動を続けることが必要であることを確認させる。				

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1	バディシステム	6	
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタート時にスタート台に向き、両手でスターティンググリップを持っていなかった時。</li> <li>・スタート時に、排水溝に足を掛けたり、排水溝の縁に足の指を掛けていた時。</li> <li>・折り返し動作中を除き、あおむけの姿勢で泳がなかった時。</li> <li>・スタート、ターンを除き、体の一部が水面上に出ていなかった時。</li> <li>・スタート、ターン後、壁から15m地点をすぎて、頭が水面上に出ていなかった時。</li> <li>・折り返しを行っている間に、泳者の体の一部が自レーンの壁に触れなかった時。</li> <li>・折り返しの際、足が壁から離れた時に、あおむけの姿勢に戻っていなかった時。</li> <li>・ゴールタッチの際、あおむけの姿勢で自レーンの壁に触れなかった時。</li> </ul>	<p>4つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	各4×4 30
	3	体の調子を確かめてから泳ぐ、プールなど水泳場での注意事項を守って泳ぐなどの健康・安全の心得のこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8